

# バストス週報

第二百廿七号  
昭和廿九年  
十月十日  
發行

DIRECTOR  
KOITI MORI  
— — —  
REDATOR  
SHION ODA

発行所  
RUA PRES.  
VARGAS 188  
C. P. 112  
BASTOS

誌代  
一年  
80\$00

## 日本館拝見

賤す人もあり  
褒める人もあり

イビラフエーラの国際展を観た人の話では、折角見物のついでに日本館を見たとが、何しろ他の建物が大いので、見栄えのせぬこと願しい、また便所位にしか見えぬと、皆と頗る酷評であった。廊下の角柱など皆、磯が入っているし、細い食弱なものさし……あれに入っているも掛ったとは受取れん(中々誰か食つてしまつたよ)なまなま(方)などとも耳にした。そういふ印象を頭に置いて見に行つたせいだが、余り立派だとは思はなかつたが、それは私なりに、中々よく出来ていると感心する一面もあつたと思ふ。最初は十月七日の夜、佐々木南天と二人で出かけたが、公園の敷地が五十とが七十域もあるのだつた。廣い所、日本館はどこにあるかと尋ねたが、別館の低くはなれた水立をぬけて湖を背景にた、地にやつと見つけたのであつた。別館の玄関に丁APAのイルミネーションが光つているので判つたが、正門から直線コースで五百米もあるような乳がした。近づくと思ふアラメが張り廻してあり、更に入口には切符売場があつて、余五針をコープスする。かぬて寫真で見たとりの形が夜目にもはつきり浮び恐る。玄関を覗くと、二三の外人客がとや／＼と上つてゆく所だ。五針も拂つたんだから、少し探してもする氣で出来る文町等に、見ることにした。玄関の車寄せは花崗岩の磨き、木末なら敷居があつて、玄関の二枚戸は硝子格子で、左右に引きあける処がある。此処は洋風に觀音開きである。扉は八〇センチに、米半位の硝子。左は供待部屋、右は磨り硝子格子で、泉水へ出られる様になつて、いる。泉水へ出る事を禁ず、と書いて、いしおまけに引き戸が開けてある。庭へ出て見た。座敷からの照明が庭の隅々迄照らし、非常に美しい。誰か、寫真をとつたのは、此れ位置だと思ひ、作ら飛が石を得つて庭の中央に出た。そこには六噴もあるといふ大岩がなほ池に浸つて、背を出している。泉水には小波が立って、座敷の床下の方まで池になつて居る。よくすかして見ると、大鯉が悠然とヒレを振つている。汀には京都の賓船とか、加茂川から運んだといふ小石が水中に白く、汀

は黒と染め分けて中々凝つた趣向である。京都の桂離宮の造園は、小堀遠州の手に成つて、東洋一の名園といふことだが、ここは堀かわが、少し小高くなつていて、薄のような草が、風になびいて、いる。庭らしい。瓦趣は、まだ出来ていない。それとも、桂離宮瓦といふのは、建物のこと、それ全然別かも知れない。百平方米坪の半分は池で、汀は自然と、浅く、池に水が増すと、自然の湖へ排水するようになつて、排水口に面した方は、美しい竹垣、他の二方は、三米高の繁蔭、上に屋根があり、螢光燈が夜ももつて、内外を美しく照らす。

Alfaia - Tania Marriama



信用ある各種マルカ時計  
指輪宝飾入アリアンサ  
最新型メガネ・サングラス  
腕輪・首かざり・耳かざり  
楽器のり色々  
フレゼンテ用各種珍らしいもの一式

紳士淑女装飾品一切

ツッパンに御いでの時節は  
どうぞを御立ちより下さい

丸山洋服店で

RELOJOARIA  
CONFIANÇA  
T. NAKAMURA  
TUPÁ



時計店

C.P. 544

ツッパン市 ジャジネロポト前

は黒と染め分けて中々凝つた趣向である。京都の桂離宮の造園は、小堀遠州の手に成つて、東洋一の名園といふことだが、ここは堀かわが、少し小高くなつていて、薄のような草が、風になびいて、いる。庭らしい。瓦趣は、まだ出来ていない。それとも、桂離宮瓦といふのは、建物のこと、それ全然別かも知れない。百平方米坪の半分は池で、汀は自然と、浅く、池に水が増すと、自然の湖へ排水するようになつて、排水口に面した方は、美しい竹垣、他の二方は、三米高の繁蔭、上に屋根があり、螢光燈が夜ももつて、内外を美しく照らす。





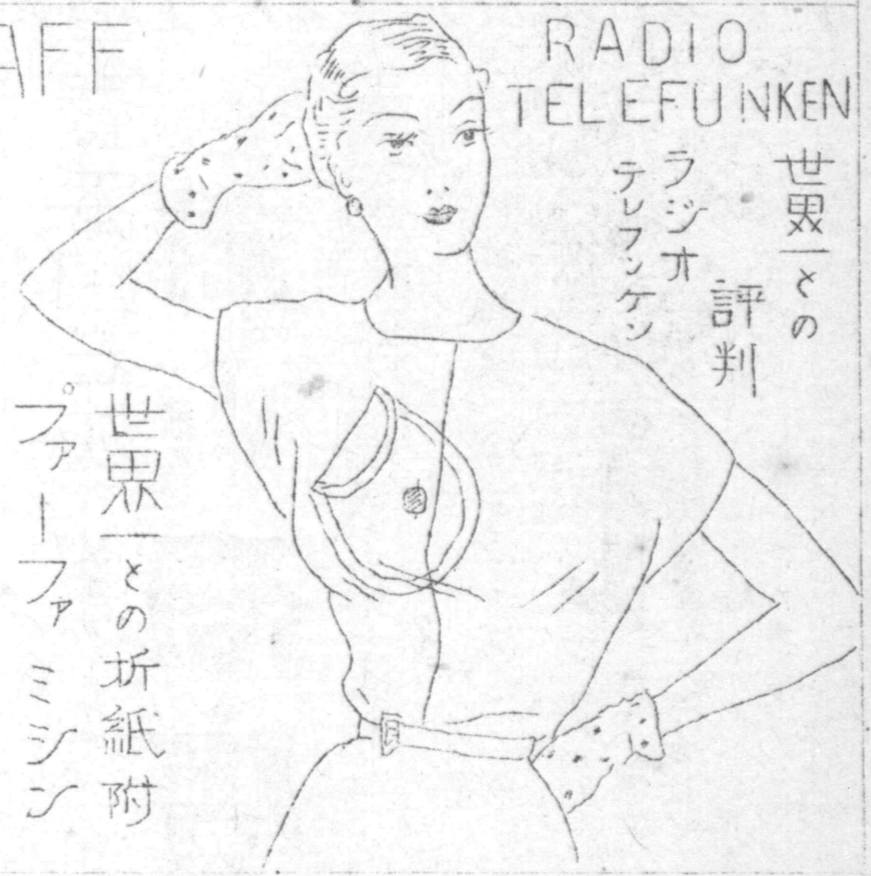






発表の手加減がわがう丈だ。國民にほんとうの事を知らせるのが目的ではなく、國民の戦意昂揚が主眼である。この國も同じだ。仲人は嫁ごりの色の白いことだけを言う。或は謀小使するよう悪い面は、かすものである。中河又は空向の發表は、しなないばかり大本營發表には連絡がない。貰けたことは伏せておく。何をで終りにし、いつて帰るまい、決して質問をゆるさない。この國でも同じようなものだ。大本營の問題に限りず他にもおひ分とおかいな事が多い。下山國教總裁の事件でも同級生であった人が審判官といふ。他校だが自殺だが判らず、三國人がやめたなどとも云はれる。松川事件でも三鷹事件でも犯人は判っていない。鹿地直の事件、はじめは行方不明、のちに監禁から放された。何の為のだからさっぱり判らん。彼は友人たかよく知っているが、はじめ上海に居て終戦後日本に帰らうとする。スパイの嫌疑で帰れず重慶に行つた。重慶では支那側に有用なものの為の彼は國戦呼りをされた。鹿地の父は学校長の席をなす。彼に至つた。彼は夫産愛國の英雄として夫産愛でもはやされてゐるが、愛國は何であるか、さうはり誤がわからぬ。愛國の英雄といふのは共產党のテータ(資料)であつた。の。や。の。はつかまつてのう死んだ。そうすると共產党の新聞には四重者として掲載してゐる。沖繩に日の丸運動というのがある。これは共產党のアジだ。左も右も愛國々々という。さういう奇々怪々な事件が戦後特と多いのである。

國會乱斗事件も吉田首相渡米の邪魔立てが直接の原因であつた。吉田は渡米の上座に、教育改善法や警察法改正をもつてゆこうとした。戦後アメリカの援助を得る為めにはアメリカの希望する政策に向つて進まざるを得ない。斐米が長年月かけて亜細亞を従属化したものを日本が解放してしまつた。云はゞ日本は根に當るの。日本をやつつけ事にした。狼を檻に入れた。牙を抜き爪をぬいでしまつた。先が平和憲法を押しつけ、軍備をとつて一安心をした。所がシベリアから虎が出て来た。今度はトラ退治をせねばならぬ。それには狼とがみ合せるがよいと、狼を檻から出して見ると、この狼は猫のようにフンナになつて居る。注射をして見たが牙は出ぬ。食餌療法をとつて見たがキバは生えて来ない。そこで入歯を入れた。これにした。これに入歯でもないよりはオレだ。この総入歯が存存安隊である。見た処は派たが、ついたりものは駄目。日本國民が第一軍備に不熱心だ。戦力なき軍隊などに國民がついてこない。國民に知らせる為の、戸締りをして政府は叫んで居る。私は言論界の代表といふわけでは、中河、保安大学、横浜の海陸大学を見学した。宮城音引氏と他の心理学者と、学生を頭をテストして見た。学生二十名ばかり運動場に出てもらつて質問を見た。一君は違はる入学して勉強して居るが一朝有事の際生命をなげかけて國家の爲めに戦ふか、さうと学生はカラ／＼笑つて居る。そんな考へに入学してゐるものは一人もありません。只勉強したいから入学してゐるのです。他の学校では金がかかる。二月は月謝は只だ、月に三十回くれるから本を買ふこともできます。僕らの入学には両親も反対



RADIO TELEFUNKEN  
世界一の折紙附  
ラジオ  
テレフンケン  
PFAFF  
ラジオ  
テレフンケン  
一家に一台・家の宝  
ミシン針  
ミシン油  
ミシン穴のバリ器  
アホマル  
ネバロス  
街

# 前田呉服店

しました。教師も反対された。堂々としたのである。それは先にも当然の標に之をさして居たのである。誰しも驚くと思へう。  
私は今度の旅行で二十数ヶ國を歩いて来たが世界中に三等國は何れも軍備が張をやつてゐる。軍人が所にあふれてゐる。ユーゴでは盛んに青年訓練をやつてゐた。さういふ國をばけんと隣國と仲がわるいよ。うがある。インドとバキスタン、イタリヤとユーゴ。近東イスラエルと回教諸國。實に今にも戦争が始まる様を相相を呈してゐる。遠い國とは交りも結ば隣国志けんかをする。昔支那の遠交近攻時代を思い出。  
彼らは日本を入歯軍備とも考へホ日本を強いに思ひ至る所で評判がよかつた。ところがその軍備は皆アメリカのMSAの力によつてゐる。槍砲や弾丸を貸してやつた。あれと恰と同じやり方で双方に援助するのである。その代償として色々の利権をもらつてゐる。  
日本と朝鮮とは非常に仲がわるい。李承晩ラインの問題があり、竹島の問題がある。竹島を誰が見たいもので三コトか五コトしか値打のないような島であるが、本手はこゝに近鉄横車を押して居る。軍備がないと朝鮮にこへなめられるぞと日本では警告を發してゐる。所以だ。(以下次号)  
先週 前田呉服店様 広告中ラジオ・テレフンケンとすべきをあげまてアリスとしました。  
ローモ一のいたす処申わけありません。(右告係)  
ラジオはテレフンケンに限りません。



聯青欄

文化作文 (5)

四月一日 (佳作)

アルト女子青羊園

小野田千恵子

からりと晴れた秋の空、秋々、彼方でも  
此方でも到る秋の聲。夏の季節も最早人  
々の心に忘れられたかの様に此の頃はめ  
っきり朝夕涼しくなつて来た。バツキ  
ドでは朝早くからピリキツトが群をなし  
て涼風を身に受け楽しそうにさえずって  
居る。

私の大好な庭の菊も日に日に蕾がふくら  
み今にも開こうとして居る。今日はお母  
さんが居られないので私の責任は重い。  
朝の給桑をすませ妹と二人で朝露を踏み  
下ら桑摘みに行く。朝食後座替えをし  
、又給桑もしなければならぬ。今日一日  
も忙しくお蚕さんの手入れで知らぬ間に  
暮れてしまふ。

一家団練の一日中で一番楽しい又食の時  
もお母さんが居られないので何となく物足  
りなく淋しかった。今日は四月馬鹿とか  
嘘を言つても良い日と言ふけれど私は  
そんな嘘を言つたりするようには悪い習慣  
にはとらわれ度くないと思ふ。  
夜の給桑を済ませ、夜半の給桑を忘れな  
い様に目醒し時計を掛けて枕許に置く。  
それから私達の自由時間、お風呂より  
上りラジオを聞きながらス編をした。

稲き刈りの、(原名今日日記)

アルト区青羊園 安齊 誠 信

農民はいつも文字通り目の廻るようにな  
れさだ、蚕にアロス刈、何處から手をつ  
けてよいかわからない。朝桑刈をすませ後  
は母と姉にまかせて、弟と二人でアロス刈  
に出掛ける。漸く黄色く実つたアロス畑  
に立つて、隣に利鎌をあてようとするこ  
のほ、えましさはほんとうに農民の獨り  
知る喜びではないか。今年に豊作と道は  
行かないに、今年に不作以上であるこ  
とは確かだ。処が此れが不作の時などは  
アロスの穂をつかんで泣き度くなる。こ  
れも農民のみ獨り知る悲しみには違いな  
い。それがもう一年も中々少くないのである。  
これをもうひとつ堪えて一年々々無言で  
大地と取り組んで行く農民の生活は全く  
先のない生活である。それでいてたまに  
断へでも遊ばせられる。田舎者といわれる  
本當に農民の愉快な立場は何處にあるの  
か。恐らく農民の幸福念は村境と出ない  
ともいえる。それでも尚農民ののだりと

いえようか、どうして農民の生活には  
大改革がもたらされなければならぬとい  
思ふ。午後から段々と空模様が悪く  
なつて来たので家路に急ぐ。疲れた身体  
を横になる間もなく又桑刈りだ。もう雨  
はバツキくやつて来た。桑畑は薄ぐらい  
あたりにも電燈がにぶく光りはいじ  
た。桑刈りがやつとすんで濡れた着物を  
脱いだ時は八時頃でもあったろうか。女  
連と一しょに桑刈りも済んで一同やれ  
と夕餉の卓についたのは九時であつた  
外は尚雨が降り続いていた。

朝の少ととさ (佳作)

アルト女子青羊園

海野房江

今朝もやはりひんやりと身にしみるよう  
な寒さでありました。庭の草花を汲んだ  
せながらサウと音を立てて朝風が顔  
を洗はうとする私の顔を静かにそ  
と気持よくはらいつつ、通り過ぎました。  
一面の草花は次へ次へとやわらかく裏を  
見せて居ります。

私はゆつくり顔を洗つてあたら、かい  
オルで顔をふきました。青い肌やぶはも  
々の中から夢見る様に浮かび上つて居ます。  
今までの竹の穂をかたくして居た、もやは次  
にうすくなり一段と明るさを感ずす。  
東の方から太陽は細目に輝き下つた。  
曇ります。今まで黒く見えこんだ竹も青  
緑の葉をひろひ、屋根には二三羽の雀が  
寒そうにからだがを丸くして朝日をあび  
ながらならんでいました。

朝の力をそそぎます。太陽はだん／＼と  
桑刈へといそぎます。太陽はだん／＼と  
つてあたら、かくなつて来ました。やつと  
一たい刈り終えて帰るとアルをツサせし  
た。

私の日記帳から

アルト女子青羊園

金川美津枝

夜のどじまんを聞きに皆で出かけた。  
町原さん連行つたり雨が降つて来た。そ  
こで二時間ばかり雨泊りをしていたが、い  
くら待つてもやまない。もう今夜は所へ  
行くより家に帰った方がよいので、はな  
い？と皆が言い出したので私は、のどし  
人を聞けないかと思つた。が、かりした。  
ようやく小降りになったので傘を借りて  
一つの傘に二人宛入つて行つた。向うへ  
ついたら九時だった。でもまだ三名しか  
うたつて居なかつた。人付ぎつり居た  
ので私達はあつとうしろの方で立つて首  
をのほして、うたう人の顔を見ながら同  
いていた。夕ローリアが二等だった。



お正月もすぎました。今日から又仕事です。いつものならお正月のあとには御飯がおいしくないのでありますが、今日はそんなにおいしくないのでお正月のあとには御飯がおいしくないのでお正月のあとには御飯が...

今日はクルッホのマトリクラーがあると言うので弟達をつれて町へ行きました。雨が降るのに今日は三つしかないので私は姉さんの日傘をかりて行きました。行く途中でカロツサがトンバしてしまいました。道がすべるので馬がころんだのでしよう。...

けいふん詰めをする。はじめはけいふん出しをした。サツコをもつてけいふんの中に入ると鶏がおどろいてパニックとさつこをうたがすと又おどろいてさつことうりてあんなにおどろくのであろう。一羽がとびとみながまねをしてさつこの大さわきになる。そのくせさつこはさつこの上にならぬふんをしたり、私のせなかののつたりしてじやまふかりする。エン...

けいふんの内にレンガしきをしました。上のおぢさんが来てみんなど下さいました。レンガをさくところなど一度も見たりとありませんでした。そんなふうにしてくのだらうと思つて居ます。オチにわをきれいにまつ平らになりました。それから糸をひつぽつて四枚か、なりべて行くのです。なるほどにわが平らだとたぐなりべて行けばよいのでかんたんです。おぢさんがとんくになりて一しよけいふんめいにはこびました。ぬれているとこは、うんとおむい。はじめは何ともなかつたがだんく、手がすれていたくなつて来ました。二十一メートルのけいふんはやつと半分すみました。

バスト短哥會報

バスト短哥會では去る十月十日第四十七回例会を池田ホテル別館で催した。当日は久し振りにイヌピアサリ三枚はら氏の出席あり、和やかな集りであった。成績総得点九点、菊子八点、扶美、鳴草七点、孤舟、霜月...

PERMANENT WAVE 美容 結髪 着附 髪は美貌の中心点 科 女子の力 化粧クズレのせぬ アストリンゼン応用 皆さまでより御高評をいたさるる身にあまる光栄と存じ、有難く御礼申上ります。 結髪式の御着附など 御下命 くださいませ 「当院」 獨得のキミカ、フリーアを用いたパールマネテ御ためし下さいませ 見事にお仕上げいたしたしませ (若夫人向) ティスネンベッ街 コメツタ寫真館向ヒ



高尖哥 (五尖)

次点 菊子 (四尖)

病みてまた癒えぬ身のまま、角膜の手術を受くる心重たく 霜月 十カりの梢を鳴らす季節風いつとは慣れぬその花びらも 孤舟 化粧室に刻なぐらひて心足らぬ揺るる汽車ぬちを 座席に停。 扶美 酔化場より離れ愛しみの跡の世話せしは二三日のみ 菊子 道すがら花さそい味く他所の庭のそもも 樂し朝の實とし 鳴草 叩きみつころびしおもみつ初めの西風 實見と市に 選り取り 東原 老吾れがつかれに詠むその身にいのちありとは 露思はねど 殺戮制少かりしか死にもせず 弱もせまに葉がつか 修水 田舎より二階建の家に移り住み 汽車につけば 登りて 見入る 是れ 千代子 千代子 千代子

席題 「初夏」

最高四尖 菊子

昇降機を、五階の窓にさる吹き入る風はすむら初夏なり 扶美 次点 三尖 菊子 ジヤボラカバの樹皮を震いて咲く花に此の群れさる初夏 菊子 初夏の風立ち初め草木のみどり深みし山に居る 孤舟 二点 以下一首ついで 旅して戻れば初夏の我々に藤まつ蜂の遊びて 東原 淡色の服を着けたる乙女の初夏の街ゆくさびのせら 千代子 子供が蜂を追へるうめにて慌しかり 移転にまがれて 是れ 初夏の座におかれある古田 顔なつかしき 寫真の美人 鳴草 繚りかへ吐く物は吐きつくとけり 初夏の光り 頭るさし 病み 修水



トラットールのモトールを  
めちやにさる

増田駒一氏御難に會ふ  
過日支部對抗野球決戦日カロリアの増  
田さんトワットールを駆つてかけつけ番  
手を張り上げて応援につとめていたが  
殊って来たトラットールを道端に停つて  
おいた為め、人でもない災難を蒙つた。  
車の前部左側にオリリヨを注入する太い  
管があるでせうが、あの管のタンパをこ  
つて油の成りにアレーアを一杯詰めたこ  
ろだ奴があるんです。どこのムレッキ  
か知らんが、ひでいことしやがる。増田  
さん、何の氣もつかず其の日は無事帰宅  
したが翌日仕事にかゝると、どうも車の調  
子が変わるのりで修理に出て来た。右の始  
末と判つた。なんぼわしが貧乏したか  
オリリヨの成りにアレーアを入れるもんか  
と、うら／＼その為めモトールを台なしに  
して修繕代六コソトもとられ、ほんにひ  
でい目にあつたよ。どうか皆さん増田マ  
ン轍を踏まない様御注意。増田さんは一  
夜考へた末、タンパの処へシャイベをけ  
るエ支をして目下特許申請中。

ペテラーノ野球試合

パヴリススタ野球聯盟主催ペテラーノ野球大会  
東部(バネズ、ツパン、ホーイ、マリー)の試合は来る  
十一月七日バネズ球場で開催される。  
が、その氣勢を煽る為め十月廿四日(日)  
1. 革命派(ピオネイロ)  
2. 戦前派(ダイアモンド)  
3. 戦後派(ジナンボ)  
4. 別派(チチオ)  
の四チームがしのぎを削ぐることにな  
つてゐる。さぞや光ったのや白いのも活  
躍することであらうと野球狂は一週間も  
前から座席を予約して張り切つてゐると  
いふ。ペテラーノがあはれるようになるに  
はバネズスタの野球は復活する事なり。

堀り出しもの



一九五一年型上フォーム

附屬品色々

右特別安くお譲り致します。左記へ  
御相談下さい

カロリアエ己 篠崎長五郎

又 日 カサクリスタイル

中央 阪東商店まで

Aviso aos Proprietarios de Terras.

Das Secções, Bomjini, Cascata, Espereira,  
Itaúna, Itaipava, Gloria, Progresso, União  
e Chacabara, que em virtude de não terem  
prestado declaração, esta Prefeitura Municipal  
não expedirá aviso.  
Assim sendo conhecida os proprietarios  
a fazerem sua declaração e efetuar o  
pagamento do imposto equivalente cujo  
prazo ja findou.  
Prefeitura Municipal de Bastos,  
em 20 de Outubro de 1954.

郡市役所より  
土地所有者に通告

ボンジニ、カスカタ、エスペランサ、イタウナ、  
カロリア、イトイパ、グロリア、グニオン、及びシャカラ  
各區の地主は毎年所有土地の申請(届出)  
をしなければならぬのだが、その届出が  
ない為め、役所から納税通告アビーズを  
出さないでゐる。  
土地所有者は必ず届出をすべく期限過  
過になつて居る税金(土地のバロールに相当  
する)を支払ふようになり、貴いまい。

一九五四年十月二十日

附註、土地税納付を怠つてゐる方は御  
心当りがありません。近頃土地売買を  
して、そのまゝ届出せぬ人も多々あるよ  
うです。打すておくともムルタがか、  
つて大分損をすることになる相です。  
御注意

Para a Economia Estadual.

Agencia em Bastos

佐々木葉舟の上隣りに開業してゐるカ  
イシヤ、エゴノミカ財全部バネズ出張所  
長、西昇君の説明によると開業数ヶ月し  
かならずが預金二百六十数名四百コソト  
を突破し漸増の一路を辿んで居るといふ。  
零細な預金で最低十針から取扱ひ、又シツ  
チの方は御通知があれば、いつでも西君自  
合で車を使つてコマランサに出かける相  
で便利がられて居る。

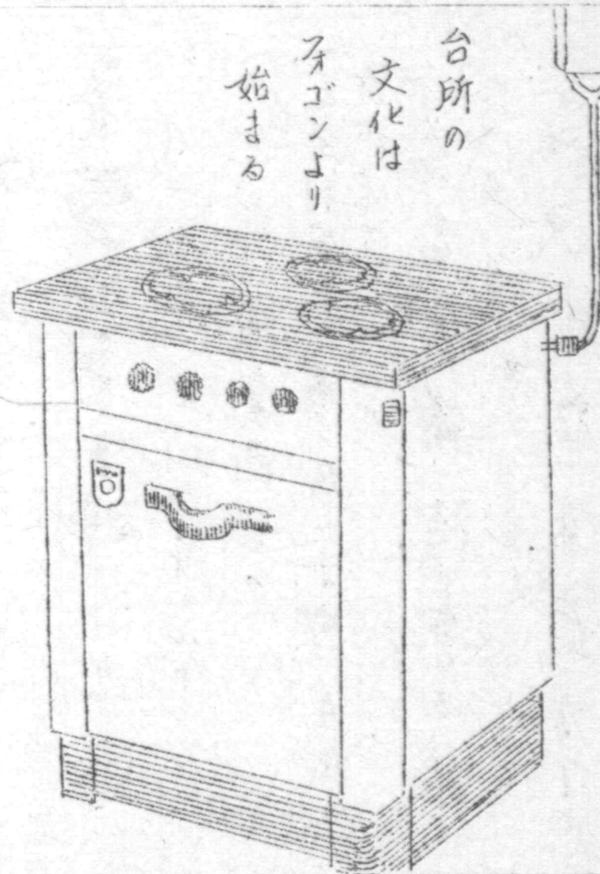
4Hクラス講習

廿二日を以て一応終了

去る十月十七日未植の林茂史、永田久雨  
先生による4Hクラス講習は予定の様に  
各區を一日宛巡回し一般男女青年に深い  
感銘と興味を与へ、廿二日カロリアエ己の  
集會を最後として一応打ち切りとした。(聯  
青では其後を是る為の近々感想文を発表する由)



台所の文化は  
 フォゴンより  
 始まる



# 東ビートルリオ争勢所

シネマカン 向い

此のホゴン一ツ据えただけで  
 貴家のコジニアは輝くばかり！

石油の消費量は、きわめて僅少

フリップスのフォゴンといえは

フォゴンの王者！

一度お立ちよりの上御らん下さい

実に理想的な外觀内実共に

申し分のない逸品です

PHILIPS

俳句のさらいな人見る可からず

## 木曜會作品 ビールとハンカチ

飲み振りは男の如しビール抜く  
 ビールのむむは若手よ豆を食ふ  
 ビールがけで選挙のラジオ聞かすをり  
 汽車の中ビールの車押して来し  
 放哥する女もまじもビールかな  
 娼婦らにおだせられつゝビールのむ  
 あびる程ビールをのんでやせてをり  
 ビールのまぬ彼何ふより布袋腹  
 からかわれるつゝハンカチもあそび  
 ハンカチの青の格子の編が好き  
 ふかれつゝ蘭になびきて鉢柳  
 チラと見し婚約指輪ビール抜く  
 (十月二十日 於中島バー)

春歩 秋扇 糸音 南天子 水仙子 枯木 帕り口 菊子 修水 紀南子 北眠 和枝

## シヤニオか？ アネ丸か？

ビールのむ邪句、派手丸勝手にしな！大納言  
 之れは一月程に選挙が終つてゐるのに、いまだ  
 その結果が判らぬ選挙風景を諷刺したもの  
 であらうが、ビールといふ季題の爲めに辛うじて  
 雑俳でん落をまぬがれてゐる危期(城)一発の  
 句である。がそれにしては氣の長い選挙で  
 はある、ビールはタンパをとって二村もすると氣  
 がぬけて、ますい。選挙だとして、作者はそこ迄考  
 へたかどうか？

## 悲願

夕狩太 六十萬本成るか？

霜出といへば夕狩、夕狩太といへば霜  
 出と言はれるウニオシの霜出老もよる年  
 波と持病の胃潰瘍には、と人と閉口してし  
 まい一週間程疎こんでしまつたが一念凝  
 つて夕狩に預ればあら不思議、ヒラ／＼  
 と夕狩の風の尻に舞つて口にとびとむと  
 夢見て快方に赴きつゝ、あるといふ、その  
 霜出老の言ふことにや……  
 「おれはもう好き放題の事をして来たの  
 だからいつ死んでも文句は無いが、それ  
 でも、もうしばらくは死ぬ暇人わい、外でも  
 ないが、おれはユーカーリ六十萬本をバスト  
 スに必す育ててこらんに入れすすと神林  
 と約束したんだ。このまゝ、参つてしまふ  
 と神林にウソをつくことになるのでな  
 らぬが口惜しい」  
 「九月末のサンパウロ新聞を見ると、九月  
 廿一日は樹木の日と題して有益な記事が  
 出て居たが、残念なことにはブラジルは  
 植林の置き、年々伐採する方が多くて、こ  
 のまゝ放置すれば氣候の変調、雨量の減  
 少による砂漠化はまぬかぬないと警告を  
 發して居るが、せめてバストス人だけで  
 も樹木の日とに關係なく樹林して貰ひ  
 たいもんじや、ユーカーリを樹えて貰ひ  
 たい人があつたら手を上げなさい。そうじ  
 やろう、もうかるにきまつてる。金もう  
 けは好きなくせに、どうしてユーカーリ樹林  
 をやらんのかね」(樹は植の誇り)  
 「バストスは文化移住地などと言はれる  
 がこのハカアタマのようなでこぼしの血  
 きこのまゝに、とく様じや、まアカホク  
 におとるな。一ペンパウリス線をパイジ  
 ーで見んかな、バカルーから先きりオフ  
 ラーロ、カンピウスに到る鉄道の沿線だ  
 けでも、美事となユーカーリ園じや、それ  
 がバストス附近から奥になると新興地帯の  
 關係もあるが、からつて駄目だ。  
 百年の計は樹を植ゆるにあり……と昔の  
 人でさえ言ふとるじやないか。損をするこ  
 とをわしは、すゝめるのじやなか。  
 「日本では天子様自らの公園に樹をお植え  
 なさる、アラジルでもなア、せめて政界の  
 ヒマを見てユーカーリの一本でも自ら植え  
 る知事さまがあつたらとわしはそれか  
 リがだにか、るんじや。音楽を愛する人  
 に悪人は無い相な、樹木を愛すること  
 香々の生活に直結する問題である文に  
 の人の心は、いらく人愛に通するものが  
 ある……これはわしが言ふのじやない、お  
 ルトガルの詩人が唄つたんじや、無理で  
 はあろうがわしの悲願、ユーカーリ六十萬本  
 本樹林完成に、協力してもらひたいものだ」  
 そういつて霜出老はユーカーリを礼讃するのである。

94 de Curitiba de 1954